

## ふしきの地で 自分の夢や目標をもとう！

富山県で最初につくられた公立小学校は、伏木小学校です。設立者は伏木本町の回船問屋に生まれた藤井能三（のうそう）。藤井能三は小学校設立のために持ち家を提供し、全ての費用を立て替えました。明治6年（1873年）、27歳のときです。

### ◆伏木の先人 藤井能三の夢

藤井能三には、伏木港を富山県の中心の港に発展させたいとの夢がありました。明治10年（1877年）に日本海側で最初の洋式灯台を私財でつくります。明治27年には「特別貿易港」となり、韓国や沿海州との貿易がはじまります。「伏木築港論」には、伏木港からロシアのウラジオストクへ船で行き、シベリア鉄道を使えばヨーロッパの国々と貿易ができるのだ、と壮大な夢（構想）が述べられています。そして大正元年（1912年）伏木港はようやく改修工事を終え、3000t級の大型船が入港できる港になりました。藤井能三は新しい伏木港の完成を見届け、翌年に67歳でその生涯を閉じたのでした。

### ◆夢や目標をもつことの大切さ

藤井能三の夢を紹介したので、明治・大正時代に活躍した日本の大実業家・渋沢栄一（埼玉県出身）の名言とされる「夢七訓」（ゆめしちくん）も紹介しておこう。

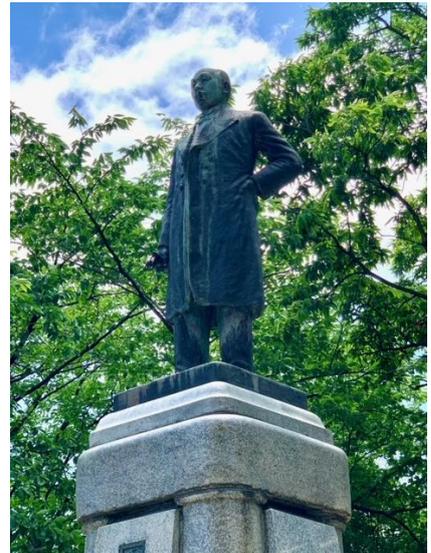
<夢七訓>

夢なき者は 理想なし	理想なき者は 信念なし
信念なき者は 計画なし	計画なき者は 実行なし
実行なき者は 成果なし	成果なき者は 幸福なし
故に 幸福を求める者は	夢なかるべからず

渋沢栄一は2024年に刷新される一万円札に登場する人物ですね。「夢七訓」の結論は、「幸せを求める人は、まず夢をもとう！」ということです。

大きな夢をもち、それに向かって努力する。小さな夢でも良いし、その日に達成したい目標でも良い。自分で夢や目標をつくり、前に進んでいくと、人生が面白くなる。

渋沢栄一は、事業で得られた利益で社会や人びとの生活を豊かにしようと行動した人でした。ちなみに、渋沢栄一の直筆の書が、本校の校長室にあります。見学したい生徒は、昼休みや放課後に校長室へどうぞ！



伏木小学校に建つ 藤井能三の銅像



平成11年に伏木港開港100周年を記念し、再現された洋式灯台（伏木燈明台）



大正時代の伏木港